

第1回学校関係者評価委員会 議事録

作成者（書記）：内藤修治

日 時	2020年6月2日（火） 13:00～14:00
場 所	東京ベルエポック美容専門学校 第2校舎
出席者	2020年度学校関係者評価委員会 委員 ＜出席＞森 章（拓殖大学紅陵高等学校 学校長）【高等学校関係者】 ＜出席＞浅川潤一（千葉商科大学付属高等学校 学校長）【高等学校関係者】 ＜出席＞齊藤慶子【保護者代表】 ＜出席＞空田真之（江戸川区葛西・西葛西メトロセンター会 役員）【近隣関係者代表】 ＜出席＞山根純平【卒業生代表】 ＜出席＞吉岡百合子（日本トータルコレクション会長 株式会社寿吉 代表取締役）【業界代表】 ＜欠席＞山元健次郎（株式会社 髪師 代表取締役）【業界代表】 ＜欠席＞古島昭博（滋慶学園 常務理事） ＜欠席＞浮舟洋子（東京ベルエポック美容専門学校 学校長） ＜出席＞片山裕介（東京ベルエポック美容専門学校 副学校長） ＜出席＞三井真以子（東京ベルエポック美容専門学校 副運営部長） ＜出席＞鈴木絵理（東京ベルエポック美容専門学校 事務局次長） ＜出席＞武田郁乃（東京ベルエポック美容専門学校 美容師科・美容師実践科学部長） ＜出席＞小泉哲郎（東京ベルエポック美容専門学校 ヘアメイク科学科長） ＜出席＞中岫義彦（東京ベルエポック美容専門学校 キャリアセンター長） ＜出席＞内田麻奈美（東京ベルエポック美容専門学校 広報センター長） ＜出席＞内藤修治（東京ベルエポック美容専門学校 学生サービスセンター長）

（敬称略）

はじめに

- ・本日のスケジュール確認、資料確認
- ・副学校長 片山祐介挨拶
- ・三井副運営本部長挨拶

1. 委員紹介

お名前とご所属

2. 学校関係者委員会の目的（鈴木：事務局次長）

各学校が自らの教育活動等の成果や取組を不断に検証することにより、

- （1）各学校が、自らの教育活動その他の学校運営について、組織的・継続的な改善を図ること。
- （2）学校評価の実施・結果の公表により、適切に説明責任を果たすとともに保護者・地域住民等から理解と参画を得て、その連携協力による学校づくりを進めること。
- （3）設置者が、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講じることにより、教育水準の保証・向上を図ること。

3. 評価の実施方法

(1) 各学校の教職員が行う評価 【自己評価】

(2) 保護者、地域住民等の学校関係者などにより構成された評価委員会が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価【学校関係者評価】

(3) 学校と直接関係を有しない専門家等による客観的な評価 【第三評価】

●評価10項目

教育理念・目的・育成人材像、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援

教育環境、学生の募集と受け入れ、財務、法令等の遵守、社会貢献・地域貢献

●評価をいただいた結果、職業実践専門課程の承認

文部科学省告示第133号平成25年8月30日

目的：職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的として専攻分野における実務に関する知識、技術について組織的な教育を行うものを文部科学大臣が認定

●東京ベルエポック美容専門学校では、

美容師科 平成26年認定

ヘアメイク科 令和2年認定

トータルビューティ科 令和2年認定

本日の会議で話し合った内容や自己評価の内容を鑑み、次年度事業計画・教育カリキュラムに反映させていただきます。忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

4. 2019年度 重点目標について

①入学者数 218名

②中途退学者 4.4%

③就職率 95%

最新（イマ）の美容を一人ひとりに提供する学校として常に業界と連携した教育プログラムを展開するとともに、学生ひとり一人を支えるサポート体制を整え、入学者全員が確実に実践力・技術力を身につけられる学校として、全国に認知される学校になる。

①に対して

美容師科 108名（108名）

ヘアメイク科 85名（70名）

トータルビューティ科 45名（40名） 入学数 238名

②に対して

退学者 29名 6.3%

進級者 242名 92.4%

卒業生 182名 92.8%

③に対して

就職者率 94.6%

また、美容師国家試験結果 合格者 104名/109名 95.4%

美容師科 82名/86名 95.3%（不合格者 実技2名、筆記2名）

美容師実践科 22名/23名 95.6%（不合格者 筆記1名）

が2019年度教育、就職、広報結果になります。

次に自己評価内容についてご説明します。

組織目標について人間教育・国際教育・人間教育。

学校運営目標を軸に考え、健全な学校経営を行うため毎年事業計画を作成し、3月に教職員全体で共有している。

学校運営や意思決定として運営会議メンバー⇒全体会⇒TBM など共有の場を組織立てています。

学生の教育満足度を固めるため3つのポリシー・担任力・アクティブラーニングなど講師と一緒に学校職員中心に進めてきた。

学生便覧として入学時に学生に配布し説明し共有している。

教育活動として最新の美容を学ぶために、トップサロンゼミやコンテンツとしてアシスタントプロとして在学中に参加し現場を体験することができる。また、外部イベントとコラボして在学中から業界を学んでいます。

学生募集としては、教育コンテンツを youtube や instagram を活用し発信、毎年修学旅行生の体験、高校訪問、ガイダンスなどで教育コンテンツをそのまま発信している。また、オープンキャンパス＝入学全教育と位置付けているので学びを深めるオープンキャンパスと在校生主体の行事を一緒に参加してもらい在校生からリアルな学校生活を一緒に体感している。

学生支援について

担任とキャリアセンターが連携して一人ひとりの学生に対し・満足度の高い就職支援を行っている。

・慶生会クリニック・サポートセンター・寮の運営など

地域貢献

- ・近隣清掃を始めた、みんな楽しそうにやっている
- ・メトロセンターで地域イベントに参加
- ・地域の施設などでハンドマッサージ

ここまでが 2019 年度の報告になります。

5. 2020 年度 重点目標について

①入学者数 218 名

②中途退学者 5.4%

③就職率 95%

東京ベルエポック美容専門学校は、最新（イマ）の美容を一人ひとりに提供する学校として常に業界と連携した教育プログラムを展開するとともに、セルフプロデュース力を備えた美容のプロを養成する。学生ひとり一人を支えるサポート体制を整え、入学者全員が確実に実践力・技術力を身につけられる学校として、全国に認知される学校になる。

6. 意見交換

・空田真之様（江戸川区葛西・西葛西メトロセンター会 役員）【近隣関係者代表】

教育の流れの中内部だけでなく外部も行っている。

理念にある内容をしっかり考え、最先端な教育を受け入れているように感じた。

森 章 様（拓殖大学紅陵高等学校 学校長）【高等学校関係者】

素晴らしい教育内容だと思います。

退学者が非常に少ない、学校教育や担任が寄り添いきめ細やかな教育を行っている

コロナについて質問したいのですが、youtube Zoom などで行っているが

技術取得に必要な映像授業はどんな風にオンライン授業しているのか

技術習得など教える部分について遅れたこの時間を通信でどのように行っているのか聞きたいまた遅れた時間をどう補うのか。

鈴木（東京ベルエポック美容専門学校 事務次長）

技術の部分もやってみると美容と IT の相性がよく大半が映像で行えた。ZOOM を活用し、リアルタイムで実施したり、カメラアングル考え映像発信したりしている。

人間教育部分も、ハードルは高かったがやってみるとコロナ不安の解消や在校生を ZOOM に参加してもらい先輩後輩として不安の解消ができた。また、卒業生・業界の方に ZOOM を利用したオンライン授業も実施している

三井（東京ベルエポック美容専門学校 副運営部長）

現状はまずは知識をオンラインで進め、その後技術を進めていく。姉妹校の原宿では VR を活用した技術学習などもトライしている。

山根純平【卒業生代表】

自身がいた時より楽しい学校に感じた。

学生時代にすぐやめる友人がいたが就職してからもすぐやめてしまう、離職率は今現状どうなのか、学校は把握しているのか、気になります。

鈴木（東京ベルエポック美容専門学校 事務次長）

離職率は業界として高いがキャリアセンターでフォローしている

中岫（東京ベルエポック美容専門学校 キャリアセンター長）

現状3年前から減少している3年前は20%が現状10.5%まで下がっている。

離職する前に学校に相談に来ることなどで離職率防止になっている。

やめたいと感じている学生の数は横這いですが、相談に来る学生が増えました

離職後の就職を相談する中で立ち止まる学生がいる。卒業後も含めて対応している。

浅川潤一（千葉商科大学付属高等学校 学校長）【高等学校関係者】

実学・人間・国際の3つの部分で人間教育が進んでいると感じた。特に地域貢献が増えていることがいい、学生主体で行っている学校行事や卒業生、在校生を巻き込んだオープンキャンパスはすばらしい。

地方出身者が多い学校でコロナ対策が進んでいるが、オンライン授業の環境や経済的困難など、どう取り組んだ(解決)のか聞きたい。

鈴木（東京ベルエポック美容専門学校 事務次長）

環境に関しては、アンケートを送りネット環境について確認しました。結果は返答率が高くネット環境には思ったほど問題なかった。

学校貸し出しWi-Fiは10台ぐらいで、経済的環境も奨学金等を活用して解決している。

コロナのこれからの不安が大きいようです。

内田（東京ベルエポック美容専門学校 広報センター長）

学生スタッフが主体的に行っている。オープンキャンパス・学校行事・自己ブランディングなど美容学生として発信力が高まっている。

また、SNS発信、自宅での過ごし方など学生自ら発信している。内容を見た後輩が刺激され盛り上がっている。

浅川潤一（千葉商科大学付属高等学校 学校長）【高等学校関係者】

ICTがとても進んでいてすばらしい、強みだと思います。今後、災害やコロナのような事が起こった時とても強みになる。ピンチを活かしてチャンスに変えた行いだと思いますオンラインでオープンキャンパスを本校でも見習いたいです。

齊藤慶子【保護者代表】

1年間過ごしてきて、入学式で後輩に向けた発表が出来なかったことが悔しいと言っていました。コロナがどうなるかわかりませんが、イベントが少なくなっている何とか戻ってほしい。

学校に関してはとても頼りになる先生方なので、本人も喜んでいきます。

オンライン授業も問題なく行っているので安心していきます。また、すぐ対応をしていただける先生方が多く安心です。また、就職についても心配しているのでお願いします。

鈴木（東京ベルエポック美容専門学校 事務次長）

入学式については何か別の形で行っていきたいと感じています。

武田郁乃（東京ベルエポック美容専門学校 美容師科・美容師実践科学部長）

新1年生 新2年生 分散登校がはじまり喜んで学校に登校している
実技・就職についても遅れないようにオンラインや分散授業を通してやっていきます。
就職についても、オンラインや新しい受け入れ先などもあります。
この現状に対応しているサロンもあり、姉妹校4校連携した就職支援を行っていきます。

吉岡百合子（日本トータルコレクション会長 株式会社寿吉 代表取締役）【業界代表】
退学者の数字が良い。いろんな行事、試みが多く他所の学校さんとは違うなと感じた。
コロナ対策、ZOOMなど大きい組織ではなかなか進まない風潮にあるが早く対応できていることが素晴らしい。

鈴木（東京ベルエポック美容専門学校 事務次長）
現場で考え、やってみるが学園のスタイルなので早い対応で対応が取れた。

片山裕介（東京ベルエポック美容専門学校 副学校長）
4月5月オープンしたいサロンは開けられない状況にあるが、急なコロナのことで求人などに支障が来ているが基本売り手市場なので、今後は改善されていく都心は密にならないように大変だが、次年度は心配しなくてよい。
IT推進としてアプローチの仕方をかえてサロンを進めていき悲観することはない。

三井（東京ベルエポック美容専門学校 副運営部長）
オンラインセミナー受けて、麹町中学校校長の教育セミナーを受講してコロナは1年くらい続くのでオンラインとおして学べる教育システムを構築したいと感じた。

7. 評価シート返信

6月22日（月）までに「評価結果及び改善方策シート」を返送していただく。
※次回の学校関係者評価委員会：10月13日（火）14時～15時30分予定
ご案内は9月下旬に送付予定

以上
